

むすんで ひらいて

第50号

発行日
令和4年6月

発行：福井市地区社協連絡協議会
〒910-0018福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック
ナンバーをご覧いただけます



第4次福井市地域福祉活動計画が スタートしました!



吉田会長(右)に計画の冊子を手渡す奥西委員長(中)と今富副委員長(左)



第4次福井市地域福祉
活動計画の冊子

第4次地域福祉
活動計画の具体
的な内容は、We
bサイト内の該
当ページをご
覧ください。(右
記のQRコード
からご覧いただけ
ます)



福井市地区社協連絡協議会の今富廣子会長をはじめ、地区社協や福祉委員の代表も委員として協力した「第4次福井市地域福祉活動計画」が策定され、令和4年4月から新たにスタートしました。

この計画は、SDGs〈誰一人取り残さない地域社会の実現〉の視点を踏まえ、「力を合わせて地域福祉で安心して暮らせるまちづくり」を理念に、「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」の3つの基本目標に向けて18の取り組みをすすめるものです。

福井市地区社協連絡協議会では、各地区社協や市社協と連携し、地域社会のつながりによる助け合い、支え合いの輪が広がるよう、理解促進と啓発活動に取り組んでいきます。

3つの基本目標

目標の1 ひとづくり

活動の柱 見つける、育てる、活かす

目標の2 つながりづくり

活動の柱 出会う、ふれあう、響き合う

いろいろな立場の人や団体などが出会い、交流を深める場を広め、いざという時に助け合える関係を再構築し、新たなつながりが生み出せるよう「つながりづくり」に取り組めます。

目標の3 まちづくり

活動の柱 広める、支える、高める

地域福祉活動に取り組む個人や団体、企業や社会福祉法人など、それぞれの活動の特徴を活かし、ネットワークをつくって、住民一人ひとりが安心して暮らせる「まちづくり」につながります。



福祉委員委嘱状交付式及び研修会で動画を視聴する福祉委員

令和4年度は福祉委員の改選の年です。3月26日(土)東藤島地区社協を皮切りに、各地区での福祉委員委嘱状交付式及び研修会が始まりました。今年度からは新型コロナウイルスの感染状況に左右されず、福祉委員活動への理解を深めていけるよう各地区での開催に切り替えました。

東藤島地区での交付式では、野路次夫会長が福祉委員一人ひとりに委嘱状を手渡し、「見守り活動が

第一の基本」であることなど福祉委員活動の重要性について話されました。

研修では、今年度から新たに取入れた動画を用いて、市社協職員が福祉委員の役割や活動内容、また活動を進める上でのポイントや留意すべき点について説明がありました。

参加者は、聞き取った内容を熱心にメモされ、「とてもわかりやすくてよかった!」と大変好評でした。

この動画は、福井市社会福祉協議会のYouTube「ふくみんチャンネル」で、いつでもどなたでも気軽に視聴することができます。

福井市地区社協連絡協議会では、新たに委嘱された1,571名の福祉委員活動をバックアップするため、研修会の開催や研修内容の充実に努めていきます。



地区社協活動説明会(詳細版)3年ぶりに開催!!

地区社協活動への理解と実務を学ぶ「地区社協活動説明会(詳細版)」を5月9日(月)に開催し、地区社協関係者50名が参加しました。

この説明会は、大きく5つのプログラム(下記参照)に分けて時間割を組み、地区社協の方々がより詳しく知りたい内容を選択して参加できるようにしました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催でしたが、参加者からは、「詳しい説明でわかりやすかった」「手引書なども準備されていて理解ができました」などの声が聞かれこれからの活動への安堵感が広がったようでした。

地区社協連協では、地区社協のみなさんが円滑に活動を進めていけるよう定期的に開催し、今後もバックアップしていきます。

説明会 5つのプログラム

- 1 会員会費・共同募金(会費や募金の種類、募金の使途他)
- 2 啓発・ふれあい事業、食事サービス事業
(事業計画や予算、決算書の記入方法他)
- 3 自治会型デイホーム事業(補助金の基準や加算、会計の手順他)
- 4 地区社協会計事務(会計の考え方、手当や講師謝金の源泉徴収の仕方他)
- 5 地区社協事務(配付された事務用ファイルを中心に説明)



「社協と自主防災会との情報交換会」



河合地区では、2月28日(水)災害時の対応をスムーズに行えるよう、まずは横のつながりをつくろうと、初めて、福祉関係者と防災関係者が一堂に会し、情報交換会を開催しました。

地区社協や地区自主防災会の役員、公民館職員、8名が参加し、各団体の活動紹介や「河合地区災害時緊急連絡配信」の登録状況などについて報告をしました。

情報交換では、「自治会や民生委員等で情報を共有している自治会もあるが、そうでない自治会もある」「6月の総合防災訓練では、自治会単位で安否確認の訓練ができるようにしていきたい」など、意見を出し合いました。

今後は、6月の総合防災訓練の参加に加え、自治会単位で安否確認の訓練ができるように、各団体の横の繋がりをもつことの周知と理解を図り、自治会を中心に、自治会長や自主防、民生委員、福祉委員等が集まり、話し合う機会を設けていくことになりました。

地区社協連協役員

(任期：令和6～7年度の2年間) (敬称略)

役職	選出区分 (ブロック名)	氏名 (地区名)
会長	全市	今 富 廣 子 (社 西)
副会長	あずま	清 川 忠 幸 (和 田)
副会長	九頭龍	三 澤 高 信 (森 田)
理事	あたご	宮 崎 孝 司 (足 羽)
理事	不死鳥	島 川 由 美 子 (春 山)
理事	みなみ	辻 森 直 邦 (麻生津)
理事	光	竹 田 法 英 (一 光)
理事	川 西	松 並 久 太 夫 (本 郷)
理事	足 羽	辻 本 治 男 (美 山)
監事	全市	梶 本 重 成 (湊)
監事	全市	松 成 嘉 實 (宝 永)

令和6年4月22日
福井市地区社協連絡協議会総会が開催され、新役員が選出されました。



令和6年度 各地区社協会長

(令和6年6月1日現在)

(敬称略)

	地区名	会長名
あたご	木 田	平 重道 ★
	豊	山田 耕一
	足 羽	宮崎 孝司
	湊	梶本 重成
不死鳥	春 山	島川由美子
	宝 永	松成 嘉實
	順 化	村田 眞一
	松 本	黒川 俊枝
	日之出	毛利 茂則 ★
みなみ	旭	渡邊 本爾
	日 新	中川 忠洋
	清 明	奥村 清治
	東安居	倉野八十夫 ★
	社 南	内田 佳次
	社 北	吉田 晴美 ★
光	社 西	今富 廣子
	麻生津	辻森 直邦

	地区名	会長名
あずま	和 田	清川 忠幸
	円 山	吉岡 和子 ★
	啓 蒙	道端利枝子
	岡 保	吉村 義昭
	東藤島	野路 次夫
	西藤島	中田 欽也
九頭龍	中藤島	白崎 和子
	河 合	北川 幸秀
	森 田	三澤 高信
	明 新	加賀のぞみ
	安 居	牧野 忍
光	一 光	竹田 法英
	殿 下	竹原 健一
	越 迺	山本 正男 ★
	清水西	野村 藤孝
	清水東	鎌田 正弘 ★
	清水南	荒井 彦一
	清水北	白崎 俊雄

	地区名	会長名
川 西	大安寺	田安 敏男
	国 見	刀柵 茂美
	鶉	清川 清治
	棗	宇佐美敏男 ★
	鷹 巣	丸山喜美恵
	本 郷	松並久太夫
	宮ノ下	小西 安一
足 羽	酒 生	宮浦知恵子
	一 乗	朝倉由美子 ★
	上文殊	増永 秀一
	文 殊	乗川 重一
	六 条	寺横 紀廣
	東 郷	前川まゆみ ★
美 山	辻本 治男	

★は新任の会長



地区社協の活動と取組を紹介します

松本地区

誰もが安心して暮らせる
地域社会づくり



松本地区社協は、ひとり暮らし高齢者の急増と地域で起こる問題の早期発見解決に向けて各種団体と共に連携を密にして活動しています。

年間を通しての活動を紹介します。

*自治会型「イホーム」「ゆつゆつサロン」は地区の8か所で実施。地区住民の人が考案した棒フットサルは好評でした。

*「らくらく健康アップ教室 介護予防」のために体を動かす心も体もリフレッシュ。

*ひとり暮らし高齢者へ安全確認を兼ねての配食サービス

環境の変化があっても、つながりを絶やさないよう取組を考えてきました。

松本小学校の体育館で行われた「松本まつり」にて地区社協も『福祉フェア』を開催しました。

地域包括支援センターによる各種相談会、視覚障がい者・高齢者疑似体



松本地区社協 福祉フェアの様子

験、「ゆつゆつサロン」の小物づくり体験、高齢者や小さい子ども達でも楽しめるゲーム、共同募金活動等で、当日は約320人の方々が賑わいました。これからも子どもから大人まで福祉に関心をもってもらえる企画を考えていきたいと思えます。

松本地区社会福祉協議会

庶務 山田 満子
松田喜代美

湊地区

備えあれば憂いなし、
日頃より絆を深めて



湊地区は、福井市の西部に位置し、東西に「さくら通り」がはしり、桜の開花時期には桜のトンネルとして有名な「照手・木町桜並木通り」は多くの人で賑わいます。江戸時代には、足羽川右岸沿いに船着き場があり、「塩町」「木町」などの自治会名が残っており、「藁屋」「三秀園」「葎屋」等の史跡も多くあります。

湊地区社協では、「力を合わせ地域福祉で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念のもと、「ひとり暮らし」を基本理念のもと、「まちづくり」を基本目標に活動してきました。現在は、近年の能登半島での地震や大雨被害を受け、災害時の個別避難の方法について市危機管理課も交え、湊地区関係者数名で月1回の代表者会議と定期的な研修会を開いてきました。個別避難計画には、民生児童委員・福祉委員を交えて、要支援者の必要な情報を共有してきました。問題は、災害時に「だれが、どこに、どのように避難

させるか」等、個別調整に時間がかかりました。回を重ね、湊地区住民への災害対策に対する意識も向上していきます。

今後も、自治会連合会・自主防災会と力を合わせ、地域住民が絆を深め、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

湊地区社会福祉協議会

会長 梶本 重成



湊地区社協 民生児童委員・福祉委員合同研修